

Back Net

The official magazine of JFE EAST Baseball Club

Vol.3
2019年1月号



新年を迎える
新たな挑戦!



2018年の総括と2019年への対策

JFE東日本の再起をかけて

2018年は接戦を制することができず、2年連続で都市対抗野球出場を逃したJFE東日本。選手・コーチ13人が勇退となり、新生JFEとして生まれ変わります。現状のチームの課題や対策、今シーズンのチームづくりについて落合監督に聞きました。

2018年はどんなシーズンでしたか？

試行錯誤の年でした。チーム改革としてやつてきたことが、いざ開幕してみるとまくいかなかつたということがありました。特に4月の日立市長杯での大敗が大きく、これが方向転換の起点となりました。「このままでは本当に戦えるチーム状況ではない」という判断から都市対抗予選に向けての立て直しを行いましたが、結果、接戦をものにすることができず都市対抗出場を逃してしまったことは悔しい限りです。

「立て直し」とはどんなものだったのでしょうか？

選手の自主性を尊重したことです。2018年は30人中14人が入団2年以内という若いチームである程度統制が必要だと思いやってきました。それが選手にとってストレスになっていました。そこで、勝利への手法を全体から個人に大きくシフトすることにしました。監督やコーチが全て決めるのではなく、選手自身の考えを反映する余白を増やすというイメージです。野球というスポーツ

は状況に応じて一瞬一瞬変化していく必要があります。チームとはいえ、グラウンドに立て皆一人です。瞬間ごとの勝負は1対1。全体の勝利の前に個々の勝利がある。最後に勝つために何ができるのかを常に考えて、時には方針を変更することも大切だと考えていました。ここは選手にも理解を求めている点です。

2018年を象徴する試合を教えてください。

第2代表決定戦での日本通運との試合です（1-0で敗退）。打撃陣の得点力不足・パワー不足が一番の敗因だと思っていました。その反省を踏まえ、以降、専門のトレーニングコーチを招聘して体をつくっています。これに加え、チーム練習から自主練習に比重を移し、常に選手が必要な練習を自分で考えて組み立てていくことを始めました。

都市対抗出場までの流れはどう作っていきますか？

昨年までは、まず目の前の試合を確実に勝つというと直りましたが、やはりそこはあくまでも通過点として考えなければ反省しました。社会人野球をやっている以上、目標は日本一。そのため何ができるかを逆算し、今すべきことを個人で考え、チームで結果を出していきます。ウエートトレーニングの成果も見え始め、昨年のシーズン終盤のJABA伊勢・松阪大会の対大阪ガス戦（2018年都市対抗優勝）では、負けはしました。

今年のチームづくりや選手の起用方針について教えてください。

チームづくりとしては、継続して心身両面で個の力を養っていきます。日本一になるためにはどんな結果を出したらいののか、そのた

めにどんな練習が必要か、ということを個々が考えるよう促します。そのために個人ミーティングも導入し、より密な「ミニミーティング」をつくりつもりです。選手の起用は、競争・実力主義。選手・コーチ13人が勇退となり、チームが一層若返ります。

1つのポジションに2、3人の選手がいることが当たり前です。誰を起用するかについては、グラウンドでの結果が全てと考えています。加えて、中堅・ベテランが経験を生かし、ここ一番で力を発揮し、チームを引っ張つていってくれることを期待しています。

最後に後援会・ファンの皆様へ一言お願いします。

2年間、都市対抗を逃し皆様の期待に応えられず大変申し訳ない気持ちです。チーム変革を成し遂げ、今まで以上に勝利にこだわり、当野球部が長年築き上げてきたチームスタイルである攻めの野球を一層磨き上げ、日本一を目指に戦っていきます。皆様の応援は選手たちの大きな力となります。今までど変わらぬ絶大なるご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。



JFE東日本硬式野球部
監督 落合 成紀

オフシーズンの
活動をお届け!

活動レポート

JFE東日本硬式野球部はオフシーズンを中心に「JFEちばまつり」への出展をはじめ、
ファンや地域住民の皆様に向けてさまざまな活動を行っています。

ここではその一部をご紹介します。

10/28
開催

第40回 JFEちばまつり



10月28日(日)、JFEちばまつり第40回の記念開催に際し、初の試みとして野球部ブース(ストラックアウト)を出展しました。まつり開始と同時に多くの方々にお越しいただき、終始行列が途切れない大盛況!ストラックアウト後は選手と同じユニホームを着用し、景品のお菓子を片手に笑顔で記念撮影をする子どもたちに選手たちも癒やされました。

11/18
開催

ファン感謝祭



10/
24・31
開催

ティーボール教室



2日間にわたり、千葉市にある九重幼稚園にてティーボール教室を開催。投げる・打つといった動作を体験してもらい、子どもたちに野球に興味を持つもらうことを目的に、今年から活動を開始しました。難しくても果敢に挑戦し続ける前向きな園児たちに、選手たちも驚いた様子でした。野球を通じて地域とのつながりを築く貴重な時間となりました!

11/17
開催

千葉市少年野球教室



11月17日(土)、千葉市少年野球教室を開催しました。約200名の少年野球チームの選手が集まりJFEの選手たちの指導のもと熱心に取り組みました。今回の参加者の中から将来のJFE野球部員が誕生するかも?

2018年

勇

退選手・スタッフ のお知らせ

2018年をもつて、計13人の選手・スタッフの
勇退が決定いたしました。
温かいご支援・ご声援
誠にありがとうございました。



大家 淳徳

在籍期間 2015~2018



江川 恭介

在籍期間 2015~2018



堀江 航平

在籍期間 2017~2018



長友 昭憲

在籍期間 2015~2018



小原 和己

在籍期間 2012~2018



川端 晃希

在籍期間 2016~2018



小峰 弘樹

在籍期間 2014~2018



齋藤 大輝

在籍期間 2017~2018



小倉 貴大

在籍期間 2016~2018



豊原 拓

在籍期間 2016~2018



藤岡 剛 コーチ

在籍期間 2005~2018



田中 俊 ヘッドコーチ

在籍期間 2017~2018



尾張 友紀 コーチ

在籍期間 2003~2018

2019年

新

入部員

2019年は10人の新入部員の
加入が決まりました。
ご声援何卒よろしく
お願いいたします。

お便り・ご意見

「Back Net」では、皆さまからのご感想やご意見・ご要望を募集しています。「こんな記事が読みたい」「あの選手の素顔は?」etc. たくさんのお便りをお待ちしています。

お問い合わせはJFE東日本硬式野球部後援会事務局まで

TEL/043-262-2655 FAX/043-262-2865



編集・発行:JFE東日本硬式野球部後援会事務局 制作協力:りえぞん企画株式会社